

2024年2月17日

2023年度 榎野川流域における活動

第34回協議会会議

実施日：令和5年4月22日（土）

場 所：旧県漁協山口きらら支所



会長あいさつ・進行
＜関根 雅彦（山口大学）＞



干潟再生活動作業説明
＜元永 直耕（県環境保健センター）＞



アマモ再生に係る意見交換等
＜山本 浩一（山口大学）＞

榎野川河口干潟再生活動2023

実施日：令和5年4月22日（土）

場 所：旧県漁協山口きらら支所・榎野川河口干潟（南潟）

主 催：榎野川流域連携促進協議会・県漁協吉佐支店山口支所



開会式



寄付
(榎野川漁業協同組合)

榎野川河口干潟再生活動2023

被覆網撤去・アサリ調査



試食会・寄附付き商品販売

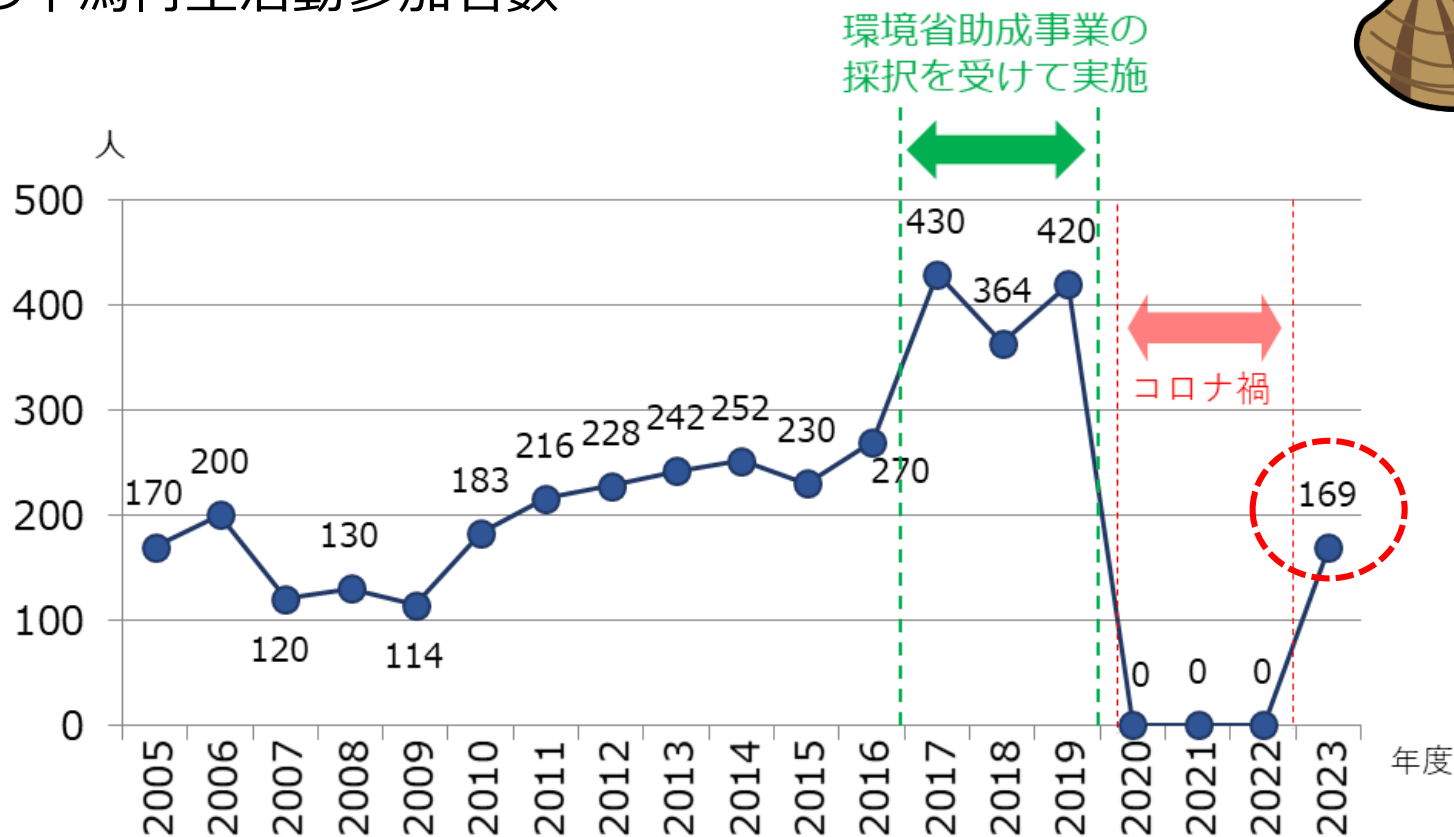


網袋による稚貝育成



榎野川河口干潟再生活動2023

春の干潟再生活動参加者数



- ◆ 3年間中止していたにも関わらず参加者数は**169人**！
- ◆ 「久しぶりに干潟に来ることができて楽しかった」との声も

榎野川河口干潟再生活動2024の開催

本年も開催予定！！

日程：令和6年**4月27日（土）** ※延期の場合は4月28日（日）

主催：榎野川流域連携促進協議会・県漁協吉佐支店山口支所
榎野川河口域・干潟自然再生協議会

皆様のご協力をお願いいたします！



住民参加型の干潟再生イベント

二島小学校との連携授業

実施日：令和5年7月4日（火）、10月13日（金）

場 所：榎野川河口干潟（岩屋、長浜）

実施者：山口市立二島小学校、協議会（講師：協議会委員）



カブトガニ観察（カブトガニ研究懇話会）

水生生物観察（水産大学校）

ふしの川水系クリーンキャンペーン

実施日：令和5年7月15日（土）

場 所：平川河川公園周辺（中流）

主 催：榎野川漁業協同組合、山口市等

参加者数：300人以上



◆ 河川清掃の実施

カブトガニ幼生生息調査・観察会

実施日：令和5年8月19日（土）、9月15日（金）

場 所：榎野川河口干潟（長浜、南潟） ※観察会は長浜のみ

主 催：協議会 カブトガニWG

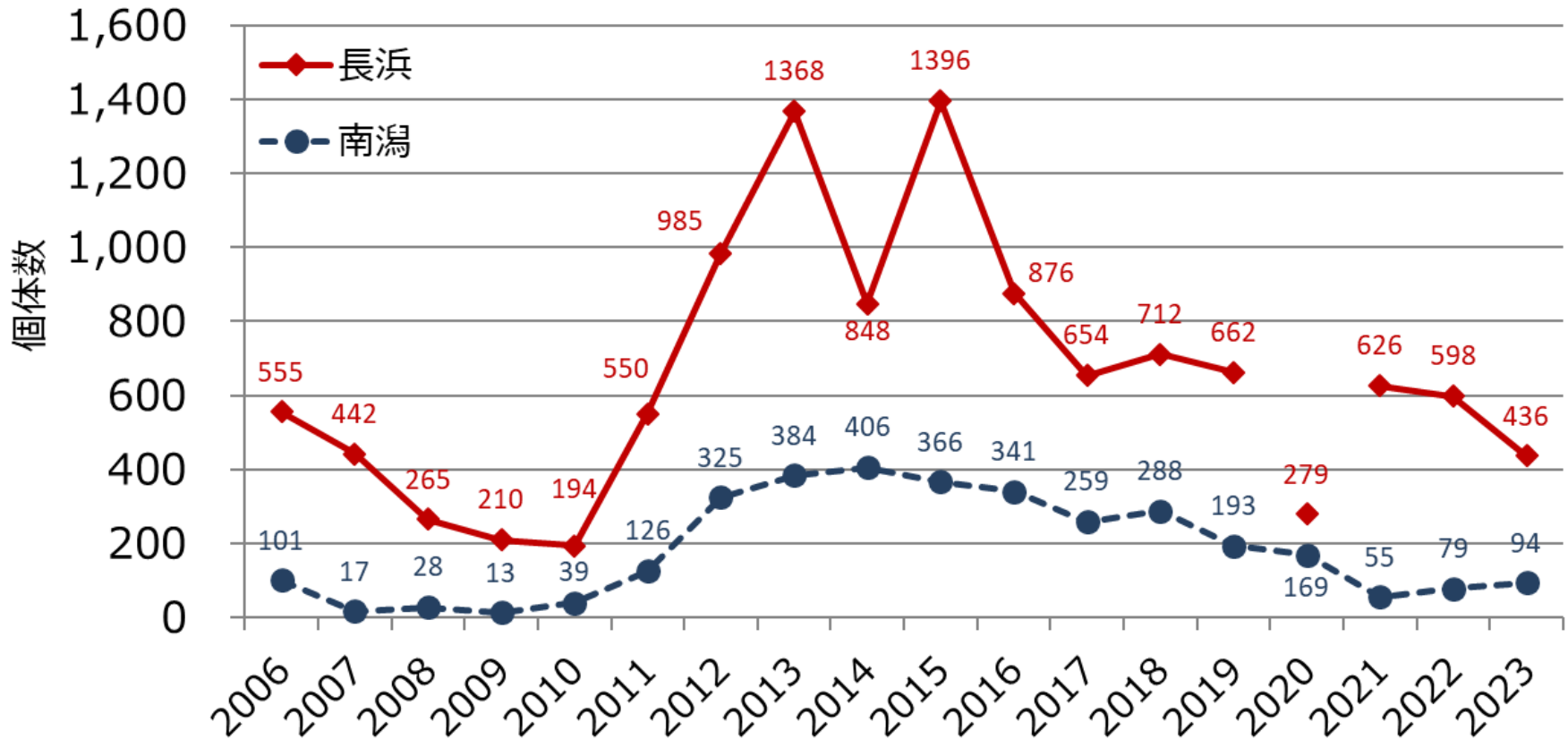
参加者数：長浜調査60人、南潟調査10人、観察会55人



カブトガニ幼生生息調査



長浜・南潟のカブトガニ調査結果 <発見個体数>



※南潟：2018年のみライン6（300m）を実施
2020年の長浜は、雷雨中断により欠測

- ◆ 一般参加者を募っての実施は3年ぶり
- ◆ 長浜の発見個体数は減少傾向



ふしの川漁協まつり

実施日：令和5年9月10日（日）

場 所：平川河川公園

主 催：榎野川漁業協同組合

榎野川流域活性化交流会

山口市環境政策課

参加者数：約2,000人



水辺の教室

実施日：令和5年9月16日（土）

場 所：維新百年記念公園（木崎川）

主 催：山口市環境政策課

参加者数：21人



榎野川河口干潟再生活動2023 秋

実施日：令和5年9月16日（土）

場 所：榎野川河口干潟（南潟）

主 催：協議会 干潟・水産資源再生WG、ブルーカーボンWG



- ◆ 協議会委員、ふしの干潟ファンクラブメンバー、協力企業とその家族ら27人が参加
- ◆ 網袋の開封・稚貝放流、アマモの埋設を実施

野鳥の教室

実施日：令和5年11月4日（土） ※令和6年3月3日（日）予定

場 所：新光産業きらら浜自然観察公園

主 催：山口市環境政策課、NPO法人野鳥やまぐち

参加者数：12人



- ◆ カモを中心とした野鳥観察
- ◆ 羽ペンを使ったポストカード描画

自然再生協議会 全国会議

実施日：令和5年11月7日～8日（火～水）

場 所：熊本県阿蘇市

参加者：協議会事務局

内 容：牧野作業体験、意見交換等

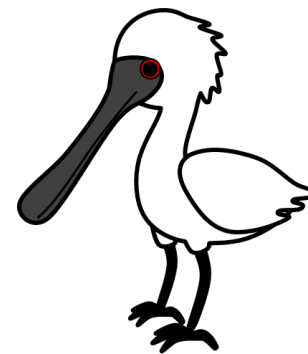


クロツラヘラサギ保全のための海岸清掃

実施日：令和5年11月11日（土）

場所：新光産業きらら浜自然観察公園、周防大橋付近海岸

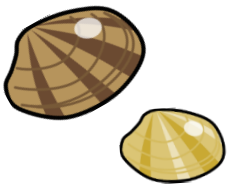
主催：NPO法人野鳥やまぐち、協議会



◆ ごみ300kg（可燃ごみ190kg、不燃ごみ110kg）を回収

アサリモニタリング調査

年4回（5月、8月、11月、2月）アサリモニタリング調査を実施



今年度4回目を2月27日（火）又は28日（水）に実施予定
ご協力をお願いします！

各種研修会等での取組紹介

募金活動も実施

◆ 令和5年8月26日～27日（土～日） 第30回瀬戸内海研究フォーラム



◆ 令和5年12月19日（火） 水質保全研修会及びふるさとの川セミナー



◆ 令和6年1月30日（火） 快適な環境づくり研修会

NEWS

環境省の行う「閉鎖性海域における藻場・干潟のブルーカーボン機能把握調査」の対象海域に榎野川河口・山口湾が選定されました！

目的

「豊かな海」を実現するため、「地域の実情に応じた里海づくり」を推進する。

検討方針

- ・藻場・干潟が有する多面的機能のうち、温室効果ガスインベントリや資金調達にも貢献し得るブルーカーボン機能（温暖化抑制機能）に着目し、ブルーカーボン量把握のための調査方法等を検討する。
- ・藻場・干潟の保全活動における課題解決やインベントリへの貢献に資する調査・評価を、ブルーカーボン量把握の調査と合わせて実施することで、効率的・効果的に取組の継続・拡大に貢献する方法を検討する。

地域の実情に応じた
里海づくりの課題

インベントリ算定に
関する課題

課題解決に資する
調査・評価の枠組み検討

- ①結果と成果の把握
- ②環境要因の把握
- ③インベントリへの貢献

一層の里海づくり
の拡大につなげる